

BAR CODE SYSTEM WITH HIGH INFORMATION DENSITY

Publication number: JP61217887

Publication date: 1986-09-27

Inventor: NOMURA MASARU

Applicant: NIPPON ELECTRIC IC MICROCOMPUT

Classification:

- international: G06K19/06; G06K7/10; G06K7/12; G06K19/06;
G06K7/10; G06K7/12; (IPC1-7); G06K7/10; G06K19/06

- European:

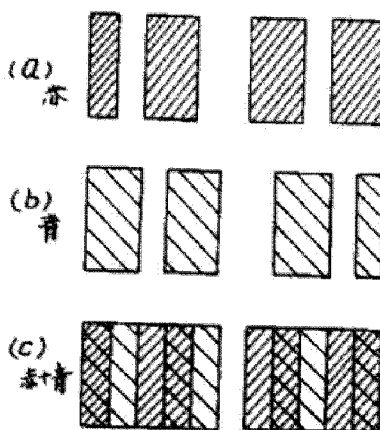
Application number: JP19850057783 19850322

Priority number(s): JP19850057783 19850322

[Report a data error here](#)

Abstract of JP61217887

PURPOSE: To obtain a large quantity of information by printing bar codes in many colors and scanning these symbols by the sensors that react only with each specific color. **CONSTITUTION:** Two types of bar codes (a) of red and (b) of blue are put on each other and printed in double colors as shown in (c). Then a blue color filter is first used to read the bar code symbols printed on a print surface in red. While a red filter is used to read the bar code symbols printed in blue. Thus it is possible to read the blue information only.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-217887

⑤Int.Cl.⁴G 06 K 19/06
7/10

識別記号

庁内整理番号

6711-5B
2116-5B

④公開 昭和61年(1986)9月27日

審査請求 未請求 発明の数 2 (全2頁)

⑤4発明の名称 高情報密度バーコード方式

②1特 願 昭60-57783

②2出 願 昭60(1985)3月22日

⑦2発 明 者 野 村 優 東京都港区芝5丁目7番15号 日本電気アイシーマイコン
システム株式会社内⑦1出 願 人 日本電気アイシーマイ 東京都港区芝5丁目7番15号
コンシステム株式会社

⑦4代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

高情報密度バーコード方式

2. 特許請求の範囲

(1) 複数の色バーをそれぞれ識別する色識別手段
を有することを特徴とする高情報密度バーコー
ド方式。(2) 複数の色バーのうち1色のみの色バーを検出
する色識別手段を有することを特徴とする高情
報密度バーコード方式。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は高情報密度のバーコード方式に関する。

(従来技術)

従来のバーコードシンボルは単色であり、一度
の走査では、一定量(バーコードシンボルの長さ
によって定まる)の情報しか読取ることができな

かった。

(発明の目的)

本発明の目的は、このような問題を解決し、バ
ーコードシンボルの持つ情報量を多くし、一つの
バーコードシンボルから多量の情報を得られるよ
うにした高情報密度バーコード方式を提供するこ
とにある。

(発明の構成)

本発明の第1の高情報密度バーコード方式は、
複数の色バーをそれぞれ識別する色識別手段を有
することを特徴とする。本発明の第2の高情報密度バーコード方式は、
複数の色バーのうち1色のみの色バーを検出する
色識別手段を有することを特徴とする。

(発明の原理)

本発明によれば、バーコードシンボルを多種類
の色で印刷し、それをそれぞれの色にのみ反応す
る光学センサで走査することにより、従来と同一
長のバーコードシンボルでその色の数の倍数の情
報を読取ることができる。また、このバーコード

の光学センサには色フィルタを付けることにより、一つの光学センサを目的に応じて反応するように選択することができる。

(実施例)

次に本発明の実施例を図面を参照して説明する。

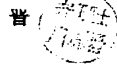
第1図(a), (b), (c)は本発明の一実施例のバーコードシボルの平面図である。本実施例は、図のように、第1図(a), (b)の赤および青の2種類のバーコードシボルを第1図(c)のようにそれぞれ赤と青の2色で重ね合せて印刷したものである。

第2図は本実施例で用いる走査用スキヤナの先端部分の断面図である。図において、1はスキヤナ本体、2は光学センサ、3はカラーフィルタ、4はバーコード印刷面である。

本実施例は、まず印刷面4に赤で印刷されたバーコードシボルを読取るために青色のカラーフィルタ3を使用すると、この場合、この光学センサ2では赤の情報のみを読取ることができる。同様に、青で印刷されたバーコードシボルを読取るためには、赤色のカラーフィルタ3を使用する

である。

代理人 弁理士 内 原 晋



と、今度は青の情報のみが光学センサ2で読取れる。

この様な方式で、バーコードシボルを印刷し、赤、青、どちらかのカラーフィルタをバーコード・スキヤナの先端に取りつけて読取ることにより、2種類の情報のどちらかを必要に応じて読取ることができる。

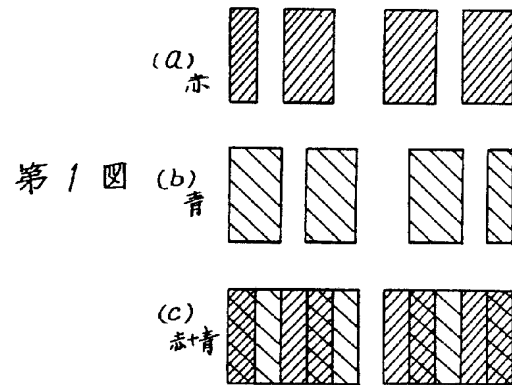
(発明の効果)

以上説明したように、本発明によれば、多色のバーコードシボルを同じ個所に印刷できるので、多量のコード情報を小さなスペースに収納できる高情報密度バーコード方式が得られる。

4. 図面の簡単な説明

第1図(a), (b), (c)は本発明の一実施例のバーコードシボルを示す平面図、第2図は本実施例の走査用スキヤナの先端部分の断面図である。図において

1……スキヤナ本体、2……光学センサ、3……カラーフィルタ、4……バーコード印刷面



第 2 図

